

# 進路だより

令和2年10月13日 第6号  
相馬農業高等学校進路指導部

## 就職試験まであと3日！！



10月16日(金)から、いよいよ就職試験が始まります。今年は、新型コロナウイルスの影響で例年より1か月遅い試験となりました。その分、準備の期間が長かったとも言えますね。校内就職選考会を無事に通過し、履歴書を提出した3年生のみなさん、準備は万端でしょうか？

就職試験を受けるということは、その会社の仕事を通して、社会に貢献することの覚悟ができたということでもあります。いよいよ本番です。自分の熱意、思いをしっかりと伝えてきてください。1、2年生は先輩の姿を見ながら、数年後の自分を想像してみてください。

試験を迎えるにあたって、以下の心構えで臨んで欲しいと思います。

### その一 試験日を迎えられたことに感謝する。

自分ひとりの力で試験日を迎えたのでしょうか？この日を迎えるまでに、多くの方々から力を貸してもらったはず。それすら感謝できない人に、内定通知は来ないでしょう。

### その二 家を一步出た瞬間から、試験は始まっている。

ドアを開けた瞬間から、誰に見られても恥ずかしくない姿で一日を過ごしてください。身だしなみ、歩き方、表情など…、自分史上最高の姿で臨みましょう。実は、近くのコンビニで知らない間に面接官の方と会っていたなんてことも…。家に帰るまでが就職試験です。最後まで気を抜かず！

### その三 「自分が受からなかったら、誰が受かるんだ」という気持ちで。

『隣の芝は青く見える』という言葉の通り、他校生は頭がよく見えたり、しっかりしていそうに見えたりするものです。でも、それは相手も同じこと。皆さんはこれまで、やれる準備はやってきたはずですよ？自分の最大の味方は、自分自身です。自分で自分を精一杯応援し、ベストを尽くしてきてください！！



## 面接について～自分のこと、どこまで話せますか？～

就職・進学、どの進路を選んだとしても、面接試験は避けては通れないものです。1、2年生もいずれその時が来ます。面接では、ウソをついても試験官に見抜かれてしまいます。「自分が高校生活で何に一生懸命取り組んできたのか」「そこから、何を学んだのか」「学んだことを就職先・進学先でどのように活かせるのか」など、自分が実際に経験したことを基に相手の方に伝えることが大切です。自分の経験をもう一度振り返り、自分の言葉で整理することができていれば、違った質問をされても対応できるはずです。書いたり、言葉にしたりすることをアウトプットと言います。ここで、現時点までの自分の取り組みについて、アウトプットしてみましょう。

- 自分には、高校生活で頑張っていることがある。  
( )
- 頑張ったことから、何を学んだかを言うことができる。  
( )
- 自分の長所を言うことができる。  
( )
- 自分の短所と、それを直すために努力していることを言うことができる。  
( )

面接試験では、相手に評価をしてもらいます。つまり、自分がどう思うかではなく、「相手がどう感じるか」が大切です。自分がどんなに良い商品を開発したと思っても、相手にも良いと思ってもらえなければ買ってもらえません。

これから3年生は就職・進学試験、2年生はインターンシップ、1年生は職業インタビューなど、外部の方と接する機会があります。先を見据えて学校でも、服装、表情、姿勢、声、しぐさ等、相手が見たり聞いたりしたときに、どう感じるかを意識しながら生活しましょう。

